

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)



産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和6年6月18日

鳥取県知事様

提出者

住 所 鳥取県境港市西工業団地100番地

氏 名 株式会社 日新

代表取締役 又賀 航一

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0859-47-0303

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和5年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 日新 本社工場
事業場の所在地	鳥取県境港市西工業団地100番地
事業の種類	合板製造業
産業廃棄物処理計画における計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	45793.61 t	全処理委託量	1784.72 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	44007.63 t	優良認定処理業者への処理委託量	473.53 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	1311.19 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：燃えがら)

有機物量

不要物等発生量

排出量

① 排出量

② 自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量

③ 0t

項目	実績値
----	-----

④ 0t	④のうち熱回収を行った量
------	--------------

⑤ 0t	⑤のうち中間処理した後の残さ量
------	-----------------

⑥ 0t	⑥のうち中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量
------	--------------------------------------

⑦ 0t	⑦のうち中間処理により減 量した量
------	----------------------

⑧ 0t	⑧のうち中間処理により減 量した量
------	----------------------

⑨ 0t	⑨のうち中間処理により減 量した量
------	----------------------

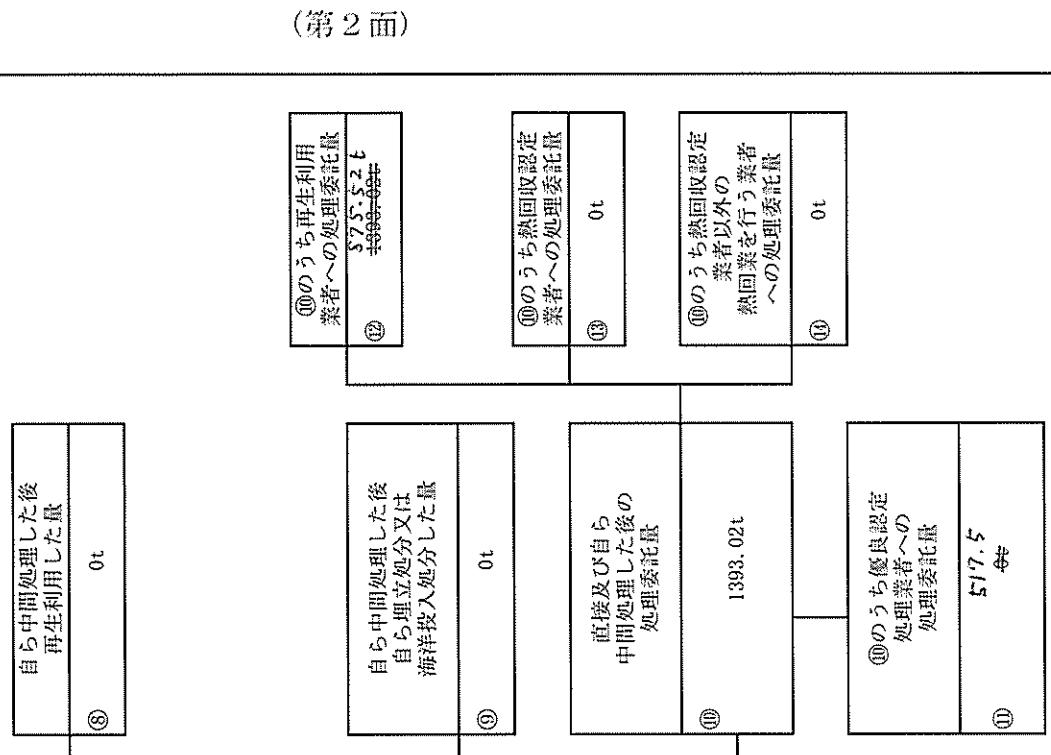
⑩ 1393.02t	⑩のうち中間処理により減 量した量
------------	----------------------

⑪ 0t	⑪のうち優良認定業者への 処理委託量
------	-----------------------

⑫ 0t	⑫再生利用業者への処 理委託量
------	--------------------

⑬ 0t	⑬熱回収認定業者への処 理委託量
------	---------------------

⑭ 0t	⑭熱回収を行いうる業者 への処理委託量
------	------------------------



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：汚泥)

有償物量

不要物等発生量

排出量
① 23.10t

自ら直接再生利用した量
② .00t

自ら中間処理した後再生利用した量
③ 0t

排出量
④ 0t

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
⑤ 0t

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
⑥ 0t

項目 実績値
①排出量 23.10t
②+⑧自ら再生利用を行った量 .000t
⑤自ら熱回収を行った量 0t
⑦自ら中間処理により減量した量 0t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量 0t
⑩全処理委託量 23.10t
⑪優良認定処理業者への処理委託量 23.10t
⑫再生利用業者への処理委託量 0t
⑬熱回収認定業者への処理委託量 0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 0t

自ら中間処理した後の残さ量
④ 0t

自ら中間処理により減量した量
⑦ 0t

直接及び自ら中間処理した後の
中間処理委託量
⑪ 23.10t

⑩のうち再生利用業者への処理委託量
⑫ 0t

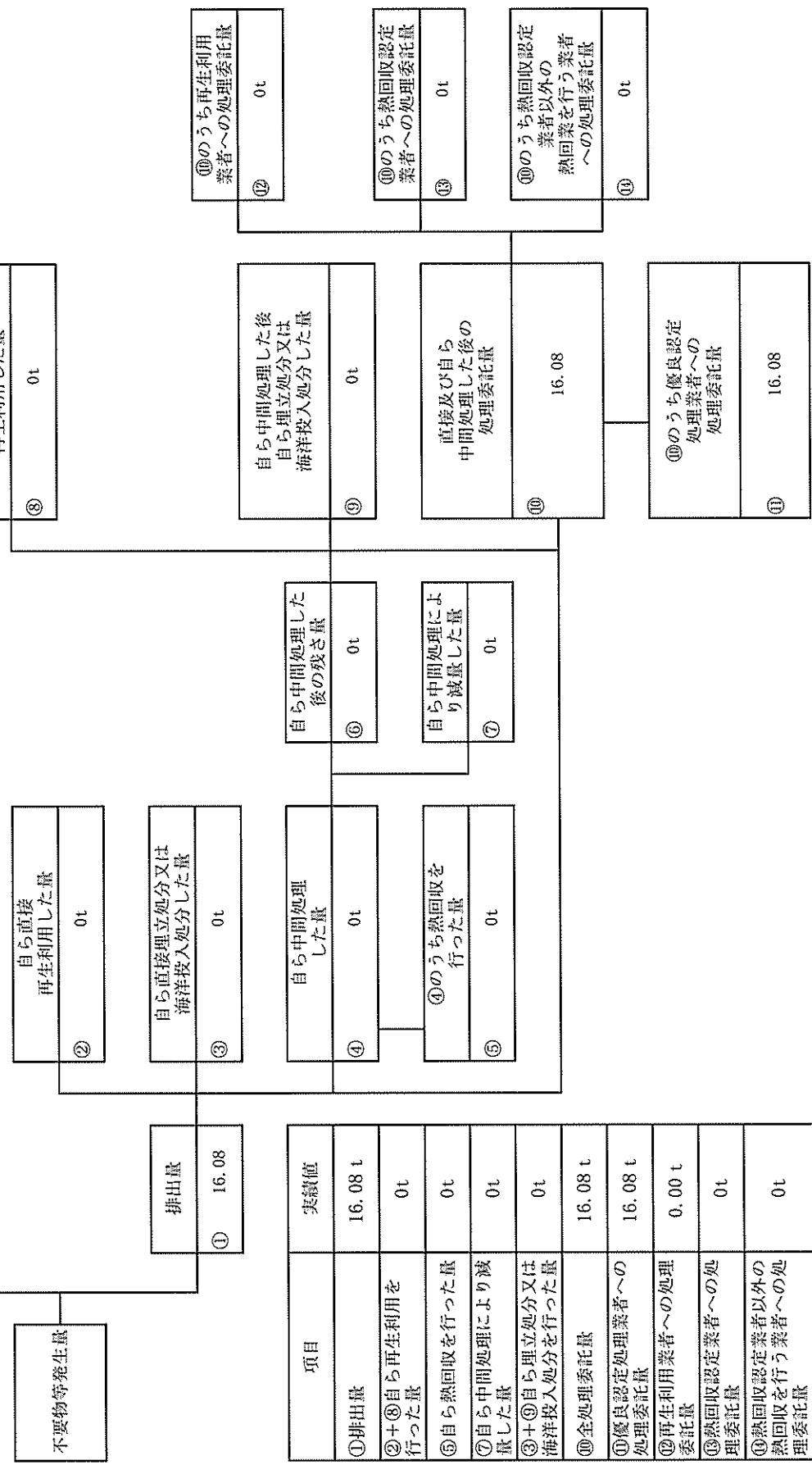
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬ 0t

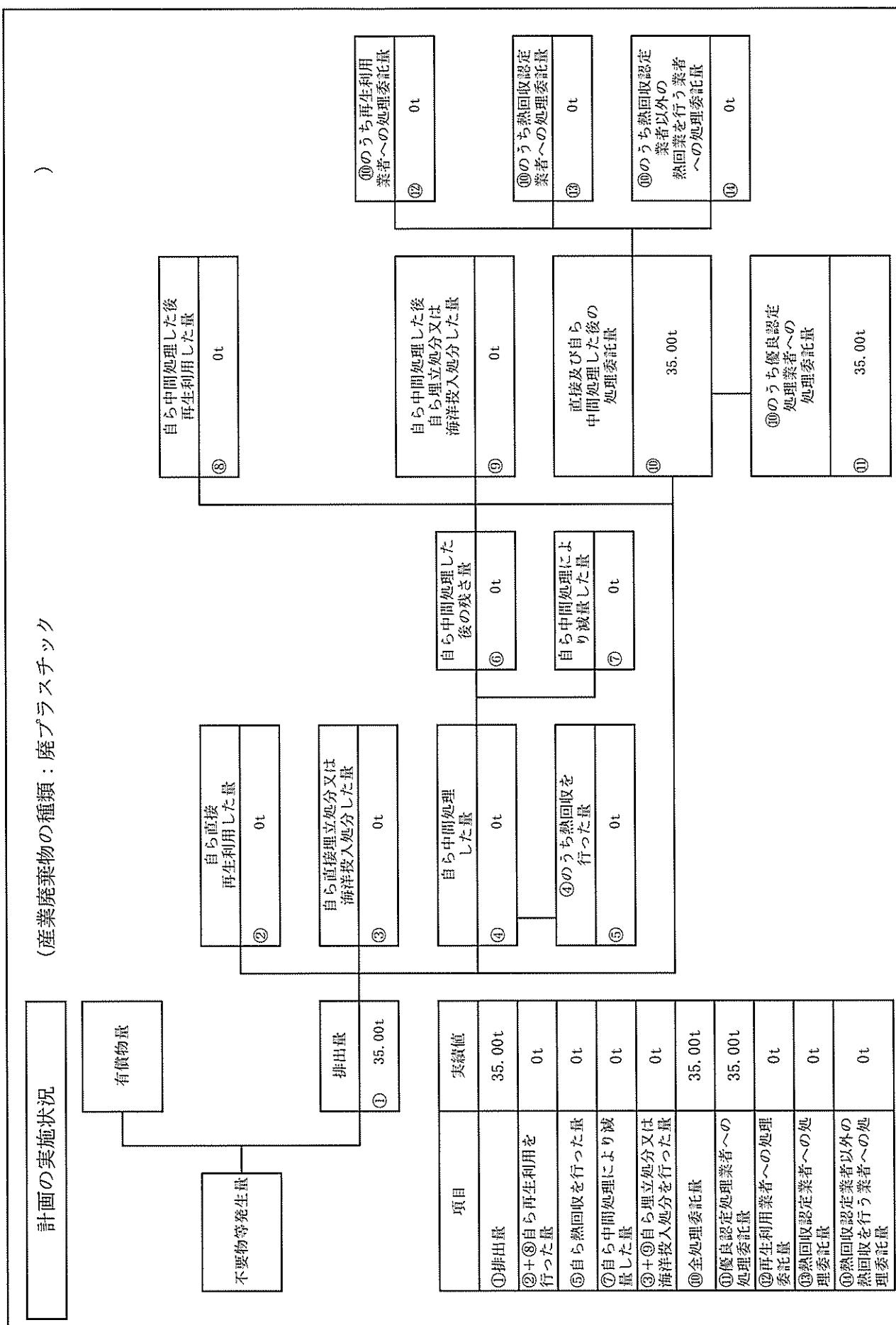
⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
⑭ 23.10t

(第12回)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃油)





計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：廃アルカリ)

有償物量

不要物等発生量

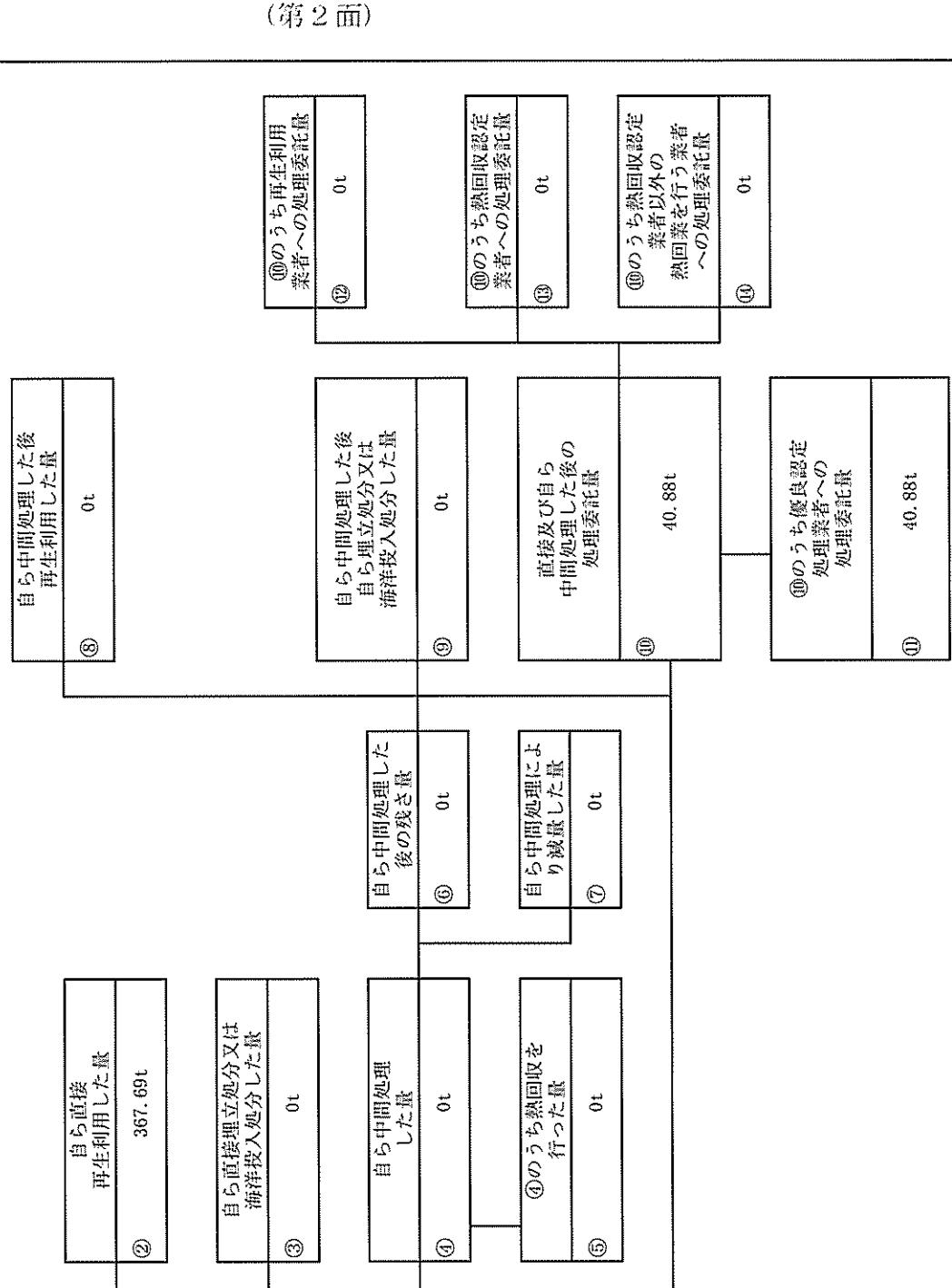
排出量

自ら直接利用した量

排出量

自ら直接埋立又は 海洋投入処分した量

項目	実績値	自ら中間処理した後の残さ量	直接及び自ら中間処理による減量	自ら中間処理した後の残さ量	直接及び自ら中間処理による減量	自ら中間処理した後の残さ量						
①排出量	408.57t	④のうち熱回収を行った量	⑥	⑨	⑪	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳
②+⑧自ら再生利用を行った量	367.69t	④のうち熱回収を行った量	⑤	⑦	⑩	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑲
⑤自ら熱回収を行った量	0t	④のうち熱回収を行った量	⑤	⑦	⑩	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑲
⑦自ら中間処理により減量した量	0t	④のうち熱回収を行った量	⑤	⑦	⑩	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑲
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0t	④のうち熱回収を行った量	⑤	⑦	⑩	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑲
⑩全処理委託量	40.88t	④のうち熱回収を行った量	⑤	⑦	⑩	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑲
⑪優良認定業者への処理委託量	40.88t	④のうち熱回収を行った量	⑤	⑦	⑩	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑲
⑫再生利用業者への処理委託量	0t	④のうち熱回収を行った量	⑤	⑦	⑩	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑲
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t	④のうち熱回収を行った量	⑤	⑦	⑩	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑲
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処理委託量	0t	④のうち熱回収を行った量	⑤	⑦	⑩	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑲



(第2回)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類：廃酸)	
不要物等発生量	有償物量	①	0.05
	再生利用した量	②	0t
	自ら直接 海洋投入処分した量	③	0t
	自ら中間処理した後 再生利用した量	④	0t
	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑤	0t
	自ら中間処理した後 の残さ量	⑥	0t
	自ら中間処理による減量	⑦	0t
	自ら中間処理による減量	⑧	0t
	自ら熱回収を行った量	⑨	0t
	自ら中間処理により減量した量	⑩	0.05
	③+⑨自ら埋立処分を行った量 海洋投入処分を行った量	⑪	0t
	⑪全処理委託量	⑫	0.05 t
	⑪優良認定処理業者への 処理委託量	⑬	0.00 t
	⑫再生利用業者への処理 委託量	⑭	0t
	⑬熱回収認定業者への処 理委託量	⑮	0t
	⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	⑯	0.05
	⑮のうち再生利用業者への 処理委託量	⑰	0t
	⑯のうち熱回収認定業者 への処理委託量	⑱	0t
	⑰のうち熱回収認定業者 への処理委託量	⑲	0t
	⑱のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	⑳	0.05

(第2回)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：木くず)

有機物量

不要物等発生量

再生利用した量
② 51290.00t

排出量
① 51312.00t

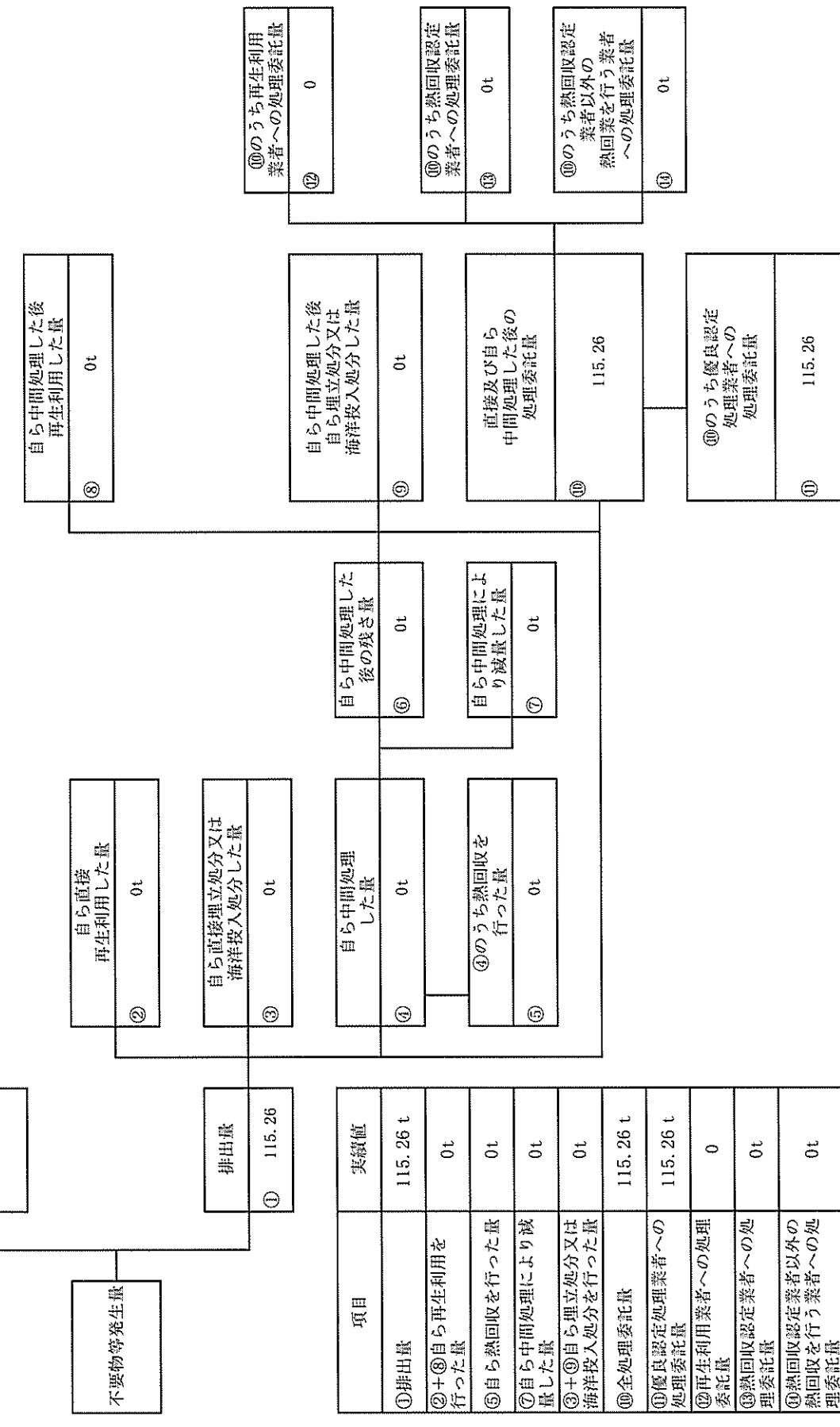
項目	実績値	
①排出量	51312.00t	
②+⑧自ら再生利用を行った量	51290.00t	
⑤自ら熱回収を行った量	0t	
⑦自ら中間処理により減量した量	0t	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t	
⑩全処理委託量	22.00t	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0.00t	
⑫再生利用業者への処理委託量	22.00t	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	

自ら直接処理した量 ④ 0t	自ら中間処理した後再生利用した量 ⑤ 0t	自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量 ⑥ 0t	自ら中間処理した後自ら中間処理により減量した量 ⑦ 0t	自ら中間処理した後直接及び自ら中間処理した後の処理委託量 ⑧ 0t	自ら中間処理した後自ら再生利用した量 ⑨ 22.00t
-------------------	--------------------------	------------------------------------	---------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------

(第2回)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：金属くず)



(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理について、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。